

ピアッジュール Viatger 中世古楽の巡礼

歌が導き旅人は聖地を目指す ✕ 祈りの響き、千年の時と旋律



✕

聖母マリアの頌歌集 *Cantigas de Santa Maria*
モンセラートの朱い本 *Llibre vermell de Montserrat*
カリクストゥス写本 *Codex Carixtinus*
ヒルデガルト・フォン・ビンゲン *Hildegard von Bingen*
etc.

✕

2022.

10/9 (日) 無罣庵

10/15 (土) 銀風工房

15:00開演 (14:30開場)

予約/3500円, 当日/4000円, 学生/2000円

ご予約・お問合せ

otoniwa.kogaku@gmail.com

主催/音庭古楽 otoniwakogaku.com



Viatger

中村 会子 / 歌唱、シトール、プサルテリウム、笛

藤川 星 / ドウダウク、シュヴィ

久田 祐三 / フレームドラム、口琴、鈴、他



■感染防止対策として演奏中のマスク着用にご協力をお願いいたします

✠ Viatger ピアッジュール ✠

中世ヨーロッパの単旋律音楽を主なレパートリーとする、中村会子のアンサンブル・プロジェクト。
2017年より、様々な演奏家を迎えたコンサートを通して、詩と音高のみで写本に遺された13世紀までの中世音楽の世界を探求。
歴史と文化にみる大陸の東端・西端の対称性、そして地域時代を問わず伝統的に在る人間の音への感性を指針に、
現代に生きる日本人として、演奏と探索の旅路を歩む。



中村 会子 Aiko Nakamura / 歌唱、シトール、プサルテリウム、笛

東京出身、札幌在住。キリスト教家庭に育ち、10歳で中世古楽の響きに出会う。国立音楽大学卒業・西洋古楽コース修了。2013年より伊・西の講習会にて中世器楽各種奏法、理論をDr.M.モリーナ、他各氏に学び、西・リエイダ大学ディプロマを取得中。2019年、仏・モワサックにてEnsemble Organum主宰・M.ベレス師の下、歴史的典礼聖歌唱法のインターンを行う。
2014年より、東京・札幌を拠点として多数の中世古楽演奏会を企画監修。ルネサンスやアルス・ノヴァとの違いを重視し、その違いの面白さに着目している。
札幌中世古楽会「中世古楽を楽しむ会」にて、オンラインでのヒルデガルト聖歌やカンティガの指導にも力を入れている。「Viatger」主宰、「音庭古楽」代表。



藤川 星 Syo Fujikawa / ドウドック、シュヴィ

幼いころより多様な音楽に触れる環境に育つ。音楽専門学校にてトロンボーン、作編曲を学んだ後、PAでの活動も含め様々なジャンルの音楽で活動する。
2017年からアルメニア音楽に触れ始めドウドック、シュヴィを主とした管楽器演奏、アルメニア音楽の研究を独学で開始。最初期のキリスト教国であり、西ヨーロッパより古い聖歌が残るアルメニア音楽と中世西洋音楽の関連性に興味を持ち、2020年、Viatgerに参加。声に親和性を持つ音色や、循環呼吸によって奏でることができるドローン音などのドウドックの特徴を活かしてアンサンブルに独特の彩りを添えている。
アルメニア以外のシリア、コプトなど東方諸教会地域の音楽にも興味を広げ探求を続けている。



久田 祐三 Yuzo Hisada / フレームドラム、口琴、鈴、他

動物写真家の父の影響を受け、ライフワークを求め2002年、タイ・沖縄の旅で出会った世界の民族打楽器に魅了されて自然の中で叩き始める。舞踏家との初舞台以降、中近東・中央アジア・東欧等の民族音楽家・ダンス・創作グループとの共演を経て研鑽を積む。
2015年、日本初のフレームドラム工房・音鼓知振の立ち上げを機にフリーランスとして独立。2018年、中村会子氏の中世古楽プロジェクトに参加。
現在は東京・立川を拠点に、演奏・制作・出店・WS・鹿皮活用等を精力的に行い、日常生活に寄り添える打楽器の可能性を、自らの活動を通じて探求している。
演奏・出店情報は音鼓知振のFacebook・Instagramで公開中。

無罌庵 (むけいあん) 神奈川県中郡大磯町大磯 9 4 3

- JR東海道線「大磯駅」より徒歩5分
- 駐車場：近隣のコインパークをご利用ください
- 〈電話お問合せ〉070-6512-8182 (中村)



銀風工房 国上市東1-18-8-302 信和第一ビル3F

- JR中央線「国立駅」南口より徒歩5分(階段のみ3F)
- 駐車場：近隣のコインパークをご利用ください
- ・お席は椅子14席と床座となっています
- 〈電話お問合せ〉090-3434-4503 (銀風工房)

